



子どもの居場所づくり情報交換会 ニュースレター



令和4年2月18日（土）に、子どもの居場所情報交換会を開催いたしました。
その内容をニュースレターにまとめました。
今後の活動のご参考に、また団体どうしの繋がり作りに、是非お役立てください。

参加者のみなさん



- ・あおい子ども食堂（葵学区）
- ・京都てらこや子ども食堂（養正学区）
- ・一乗寺子ども食堂（修学院第二学区）
- ・子ども食堂「からふる」（北白川学区）
- ・子ども館ねいろ（錦林東山学区）
- ・修学院学区社会福祉協議会
- ・岩倉北学区社会福祉協議会
- ・京都市福祉ボランティアセンター
- ・学習支援立ち上げ相談者



中崎さんのお話を聞いて・・・

コロナ禍でどんな工夫をしながら開催しているのか、地域のひととどんな協力をしているのか等、たくさん参考になるポイントがありました！（参加者より）



オンライン参加

子ども食堂の運営者の方やスタッフの方、子ども食堂の立ち上げや子どもの居場所に興味のある方がご参加くださいました。



今回の情報交換会のラインナップ

1. 「コロナ禍でこども食堂の運営をされていて思うこと」
 - ・話題提供者 一乗寺こども食堂代表 中崎路子氏
 - ・質疑応答
2. 情報交換 おしゃべり会
3. 情報提供、アンケート記入
 - ・助成金情報
 - ・寄付金情報
 - ・ホームページへの掲載について



★ 会場参加 ★

子ども食堂の運営者と、学習支援にご興味のある方がご参加くださいました。



※新型コロナ感染対策として、会場参加のみなさんにも、区社協の各会議室に分かれていただいたうえで、リモートでご参加いただきました。

食材や食事、お弁当が余る時はどうしてる？

急遽地域の方にも呼び掛けたこともある

配食ボランティアの団体に声をかけている

余った食材は、子ども食堂前のオープンスペースでバザーのような扱いでお配りしている

参加者に多めに渡したり、スタッフが持ち帰ることもある

学校との連携はどうしてる？

校長先生が変わると関係がガラッと変わってしまうこともある

これから連携していくことを目標にしているところです

学校と PTA 以外のチラシ以外は協力できませんと言われた…



中崎氏よりアドバイス

子ども達が子ども食堂のことを学校の先生に話したり、作文に書いてくれた。子どもを通して先生が子ども食堂を知ることになる。特に今はコロナ禍で子ども達の活動場所が減っている。そんな中で、子ども達の居場所が地域の中に増えることは、学校にとっても子どもにとっても良いこと。以前より子ども食堂に対する理解も深まってきているので、学校との繋がり作りは出来ると思う。チャレンジされてみてはどうか？

今後について…



からふる中土井氏より

子ども食堂同士でやり取りをするというアイデアはとても良いと思う。SNS を活用することで、交流もスタッフの募集も、食材の提供も、コストをかけずに出来ると思う。これから色々と考えてみたい。



区社協より

素敵なアイデアをありがとうございます。SNS を通じて、団体同士が気軽に繋がってみるのは大事なことだと思う。まずは、左京区内の団体さんで LINE グループを作ってみたり、出来る事を一緒に考えていきましょう！

てらこや小林氏より提案

それぞれの子ども食堂の色や地域性は違うと思うが、食材であったり、スタッフであったり、左京区内の子ども食堂同士で横の連携がとれたらなと思う。食材や人材、情報を共有し協力出来る様な工夫を模索したいが、みなさんはいかがですか？



一乗寺中崎氏より

思ってもいなかったが、良いアイデアだと思う。身近なネットワークがあれば、食材の提供を受けた時や余った時に、気軽にやりとりができると思う。

たくさんのご意見やアイデアを、ありがとうございました♪

ご参加いただいたみなさん、色々なご意見をいただきありがとうございました。ご欠席のみなさんも、このニュースレターを読まれた感想等ございましたら、是非事務局までお寄せください。

次回の情報交換会について、現在企画中です♪
またご案内いたしますので、ふるってご参加ください！
お待ちしております。

話題提供
いただいた
中崎さんと
一緒に記念撮影



令和4年3月発行